

監 査 報 告

平 成 13 年 2 月

兵 庫 県 監 査 委 員

兵 監 委 報 第 3 号
平成13年2月22日

兵庫県知事 貝 原 俊 民 様

兵 庫 県 監 査 委 員

印

毛 利 倫 印

橋 本 俊 作 印

小 西 庸 夫 印

原 吉 藏 印

監 査 の 結 果 に つ い て

地方自治法第199条第9項の規定により、平成12年11月22日から平成13年2月9日までの間に執行した地方機関、財政的援助団体等の監査の結果を別添のとおり報告します。

- 目 次 -

第1 ま え が き	-----	1
第2 地 方 機 関 等	-----	3
企画管理部関係		
西播磨県民局	-----	5
但馬県民局	-----	5
淡路県民局	-----	5
丹波県民局	-----	5
北摂整備局	-----	5
東京事務所	-----	5
姫路財務事務所	-----	6
豊岡財務事務所	-----	7
柏原財務事務所	-----	8
洲本財務事務所	-----	9
姫路工業大学	-----	10
県民生活部関係		
三田保健所	-----	10
豊岡保健所	-----	10
浜坂保健所	-----	10
篠山保健所	-----	11
柏原保健所	-----	11
津名保健所	-----	11
福崎保健所	-----	11
洲本保健所	-----	11
三原保健所	-----	11
中播磨福祉事務所	-----	11
北但福祉事務所	-----	11
氷上福祉事務所	-----	11
淡路福祉事務所	-----	12
美方福祉事務所	-----	12
県立淡路文化会館	-----	12
県立但馬文教府	-----	12
県立姫路生活科学センター	-----	12
姫路こどもセンター	-----	12
豊岡こどもセンター	-----	12
県立こどもの館	-----	12

産業労働部関係	
県立但馬技術大学校	12
県立姫路高等技術専門学院	12
農林水産部関係	
姫路農林水産事務所	13
豊岡農林事務所	13
柏原農林事務所	13
洲本農林水産事務所	13
但馬水産事務所	13
洲本家畜保健衛生所	13
姫路家畜保健衛生所	13
豊岡土地改良事務所	13
篠山土地改良事務所	14
洲本土地改良事務所	14
姫路土地改良事務所	14
県立淡路農業技術センター	14
県土整備部関係	
姫路土木事務所	14
豊岡土木事務所	15
浜坂土木事務所	15
柏原土木事務所	15
洲本土木事務所	15
姫路港管理事務所	16
県立但馬空港管理事務所	16
県立淡路景観園芸学校	16
教育委員会関係	
丹有教育事務所	17
西播磨教育事務所	17
但馬教育事務所	17
淡路教育事務所	17
県立歴史博物館	17
県立人と自然の博物館	17
県立コウノトリの郷公園	17
有馬高等学校	18
三田西陵高等学校	18
白鷺工業高等学校	18
豊岡高等学校	18
淡路高等学校	18

上野ヶ原養護学校	-----	18
北摂三田高等学校	-----	18
柏原高等学校	-----	18
氷上西高等学校	-----	18
氷上高等学校	-----	18
篠山鳳鳴高等学校	-----	19
篠山産業高等学校	-----	19
姫路別所高等学校	-----	19
姫路東高等学校	-----	19
姫路北高等学校	-----	19
姫路西高等学校	-----	19
城北高等学校	-----	19
姫路飾西高等学校	-----	19
姫路南高等学校	-----	19
網干高等学校	-----	19
飾磨工業高等学校	-----	19
姫路産業技術高等学校	-----	19
姫路工業高等学校	-----	19
姫路商業高等学校	-----	19
福崎高等学校	-----	19
香寺高等学校	-----	19
神崎高等学校	-----	19
家島高等学校	-----	19
夢前高等学校	-----	19
豊岡南高等学校	-----	19
豊岡実業高等学校	-----	19
香住高等学校	-----	19
日高高等学校	-----	19
出石高等学校	-----	19
浜坂高等学校	-----	19
温泉高等学校	-----	19
村岡高等学校	-----	19
洲本高等学校	-----	19
洲本実業高等学校	-----	19
津名高等学校	-----	19
三原高等学校	-----	19
志知高等学校	-----	19
淡路盲学校	-----	19

姫路聾学校	-----	19
豊岡聾学校	-----	19
淡路聾学校	-----	19
高等養護学校	-----	19
氷上養護学校	-----	19
姫路養護学校	-----	20
出石養護学校	-----	20
淡路養護学校	-----	20
公安委員会関係		
三田警察署	-----	20
篠山警察署	-----	20
柏原警察署	-----	20
姫路警察署	-----	20
飾磨警察署	-----	20
網干警察署	-----	20
福崎警察署	-----	20
出石警察署	-----	20
豊岡警察署	-----	20
城崎警察署	-----	20
香住警察署	-----	20
浜坂警察署	-----	20
洲本警察署	-----	20
岩屋警察署	-----	20
津名西警察署	-----	20
三原警察署	-----	20
第3 財政的援助団体等	-----	21
財団法人 夢の架け橋記念事業協会	-----	23
財団法人 ひょうご科学技術協会	-----	26
財団法人 丹波の森協会	-----	30
財団法人 兵庫県高齢者生きがい創造協会	-----	32
社団法人 兵庫県森と緑の公社	-----	35
但馬空港ターミナル株式会社	-----	38
財団法人 兵庫県園芸・公園協会	-----	40
株式会社 おのころ愛ランド	-----	42

第 1 ま え が き

地方自治法第199条第4項及び第7項の規定により、平成12年11月22日から平成13年2月9日までの間において地方機関等127箇所及び財政的援助団体等8団体の監査を執行した結果、各監査対象とも事務事業の執行に努力し、それぞれ成果を収めたものと認められるが、なお留意改善を要すると認められる事項があるので、各監査対象ごとに記述し、監査の報告とする。

これらの事項については、その後直ちに措置されたものも見受けられるが、未措置のものについては早急に適切な措置が講じられることを要望する。

第 2 地 方 機 関 等

地方機関等の名称の右側（ ）書きは監査執行年月日である。

企画管理部関係

西播磨県民局 (平.13. 2. 7)

経理事務について

時間外勤務手当等が、3件、2,950円過大支給、13件、195,078円過少支給となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

但馬県民局 (平.12.12.25)

経理事務について

- (1) 報償費(認定訓練派遣等給付金)が、1件、128,216円過大支出となっていた。
 - (2) 通勤手当等が、3件、53,906円過少支給となっていた。
- 事務処理に当たり注意されたい。

淡路県民局 (平.13. 1.22)

経理事務について

- (1) 需用費(法規追録代)等が、2件、46,553円過大支出となっていた。
 - (2) 時間外勤務手当が、22件、104,620円過大支給、3件、29,027円過少支給となっていた。
- 事務処理に当たり注意されたい。

丹波県民局 (平.13. 1.29)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

北摂整備局 (平.13. 1.30)

1 工事関係事務について

道路改良工事に伴う物件移転補償の設計で、設計額が、1件、117,466円過少となっていた。

設計に当たり注意されたい。

2 経理事務について

賃金が、1件、59,012円過少支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

東京事務所 (平.13. 2. 9)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

1 県税の調定及び徴収状況について

平成12年度(11月末現在)における県税の調定及び徴収状況は、次表のとおりである。

区分		調定額	徴収額	不納欠損額	徴収未済額	徴収割合	前年度同期の同割合
税目							
		円	円	円	円	%	%
県民税	個人	10,512,694,032	5,349,182,023	45,615,196	5,117,896,813	50.9	50.6
	法人	2,327,882,152	2,277,686,806	1,856,770	48,338,576	97.8	95.8
税	利子割	544,854,300	544,854,300	0	0	100.0	100.0
事業税	個人	1,007,006,026	776,403,920	1,320,300	229,281,806	77.1	75.7
	法人	11,257,831,735	11,016,312,700	16,664,216	224,854,819	97.9	96.2
不動産取得税		2,054,243,670	1,553,893,967	12,619,942	(72,444,992) 487,729,761	75.6	81.4
ゴルフ場利用税		190,923,660	153,825,050	0	37,098,610	80.6	87.8
特別地方消費税		106,726,769	35,073,102	3,436,203	68,217,464	32.9	71.9
自動車税		9,682,077,108	8,912,537,934	20,730,830	748,808,344	92.1	92.1
鉱区税		283,400	283,400	0	0	100.0	100.0
狩猟者登録税		6,470,200	6,490,200	0	20,000	100.3	100.0
自動車取得税		3,303,708,300	3,303,869,900	0	161,600	100.0	100.0
軽油引取税		2,513,952,284	2,358,818,805	0	(142,188,777) 155,133,479	93.8	92.5
入猟税		4,425,300	4,438,300	0	13,000	100.3	100.0
旧法による税		6,599,580	104,940	839,780	5,654,860	1.6	3.9
合計		43,519,678,516	36,293,775,347	103,083,237	(214,633,769) 7,122,819,932	83.4	82.5

(注) 1 徴収未済額欄に法定徴収猶予分を()内書きした。

2 料理飲食等消費税を旧法による税として記載した。

徴収割合は、83.4%となっており、前年度同期と比較して0.9ポイント上昇している。

2 収税事務について

平成12年度(11月末現在)における200万円以上の県税高額滞納者は59人で、その総額は359,714,335円である。

収入の促進に引き続き努められたい。

3 課税事務について

個人事業税等が、4件、25,955円過大課税、2件、85,200円過少課税となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

4 経理事務について

- (1) 職員会館使用料が、2件、9,400円過少徴収となっていた。
- (2) 電気料金を早収期限日までに納めなかったため、加算額、1件、55,786円を徴収されていた。

事務処理に当たり注意されたい。

豊岡財務事務所

(平.12.12.25)

1 県税の調定及び徴収状況について

平成12年度(9月末現在)における県税の調定及び徴収状況は、次表のとおりである。

区分		調定額	徴収額	不納欠損額	徴収未済額	徴収割合	前年度同期の同割合
税目		円	円	円	円	%	%
県民税	個人	1,857,793,373	650,350,313	2,955,143	1,204,487,917	35.0	35.2
	法人	210,956,450	207,853,117	0	3,103,333	98.5	98.3
	利子割	50,577,512	50,577,512	0	0	100.0	100.0
事業税	個人	224,070,375	105,479,300	0	118,591,075	47.1	48.3
	法人	1,061,626,700	1,059,480,484	0	2,146,216	99.8	99.6
不動産取得税		243,514,573	211,878,400	1,363,500	(6,208,650) 30,272,673	87.0	87.3
ゴルフ場利用税		34,578,100	34,578,100	0	0	100.0	100.0
特別地方消費税		67,183,334	58,342,166	14,706	8,826,462	86.8	93.5
自動車税		1,614,704,704	1,515,588,304	1,017,300	98,099,100	93.9	94.2
鉦区税		210,000	137,200	0	72,800	65.3	91.2
軽油引取税		607,918,606	503,712,106	0	(99,606,000) 104,206,500	82.9	84.0
合計		5,973,133,727	4,397,977,002	5,350,649	(105,814,650) 1,569,806,076	73.6	75.3

(注) 徴収未済額欄に法定徴収猶予分を()内書きした。

徴収割合は、73.6%となっており、前年度同期と比較して1.7ポイント低下している。

2 収税事務について

平成12年度(9月末現在)における200万円以上の県税高額滞納者は3人で、その総額は11,799,700円である。

収入の促進になお一層努められたい。

3 課税事務について

個人事業税等が、3件、397,400円過大課税、9件、166,900円過少課税となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

柏原財務事務所 (平.13. 1.29)

1 県税の調定及び徴収状況について

平成12年度(10月末現在)における県税の調定及び徴収状況は、次表のとおりである。

区分		調定額	徴収額	不納欠損額	徴収未済額	徴収割合	前年度同期の同割合
税目							
		円	円	円	円	%	%
県民税	個人	1,729,232,480	844,694,095	3,733,763	880,804,622	48.8	49.4
	法人	200,987,473	197,313,155	1,385,100	2,289,218	98.2	97.7
	利子割	55,417,898	55,446,430	0	28,532	100.1	100.0
事業税	個人	152,466,814	76,435,788	0	76,031,026	50.1	49.4
	法人	914,359,999	903,142,100	7,359,200	3,858,699	98.8	99.0
不動産取得税		275,410,106	230,617,675	1,386,992	(5,269,900) 43,405,439	83.7	85.3
ゴルフ場利用税		261,946,450	261,946,450	0	0	100.0	100.0
特別地方消費税		4,456,671	2,848,155	0	1,608,516	63.9	84.5
自動車税		1,721,330,220	1,628,327,397	847,500	92,155,323	94.6	94.4
鉦区税		402,400	402,400	0	0	100.0	95.6
狩猟者登録税		2,840,400	2,840,400	0	0	100.0	100.0
軽油引取税		134,562,679	128,458,986	0	(4,100,000) 6,103,693	95.5	95.7
入猟税		2,054,600	2,054,600	0	0	100.0	100.0
合計		5,455,468,190	4,334,527,631	14,712,555	(9,369,900) 1,106,228,004	79.5	79.2

(注) 徴収未済額欄に法定徴収猶予分を()内書きした。

徴収割合は、79.5%となっており、前年度同期と比較して0.3ポイント上昇している。

2 収税事務について

平成12年度(10月末現在)における200万円以上の県税高額滞納者は1人で、その額は2,522,973円である。

収入の促進に引き続き努められたい。

3 課税事務について

個人事業税等が、3件、159,000円過大課税、10件、232,900円過少課税となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

洲本財務事務所 (平.13. 1.23)

1 県税の調定及び徴収状況について

平成12年度(10月末現在)における県税の調定及び徴収状況は、次表のとおりである。

区分		調定額	徴収額	不納欠損額	徴収未済額	徴収割合	前年度同期の同割合
税目							
		円	円	円	円	%	%
県民税	個人	2,363,002,842	1,150,635,198	11,514,353	1,200,853,291	48.7	48.7
	法人	283,050,528	280,265,746	50,000	2,734,782	99.0	98.2
	利子割	102,860,899	102,860,899	0	0	100.0	100.0
事業税	個人	249,187,432	127,694,700	0	121,492,732	51.2	52.6
	法人	1,234,074,960	1,235,249,400	0	1,174,440	100.1	99.0
不動産取得税		616,856,082	550,516,900	1,146,200	(18,759,020) 65,192,982	89.2	82.1
ゴルフ場利用税		54,959,250	54,959,250	0	0	100.0	100.0
特別地方消費税		30,368,942	27,265,853	0	3,103,089	89.8	97.2
自動車税		1,847,602,455	1,747,588,125	1,086,333	98,927,997	94.6	94.7
鉦区税		28,400	28,400	0	0	100.0	-
狩猟者登録税		2,829,600	2,829,600	0	0	100.0	100.0
軽油引取税		559,500,049	395,890,662	0	(46,144,078) 163,609,387	70.8	86.7
入猟税		2,043,400	2,043,400	0	0	100.0	100.0
合計		7,346,364,839	5,677,828,133	13,796,886	(64,903,098) 1,654,739,820	77.3	78.0

(注) 徴収未済額欄に法定徴収猶予分を()内書きした。

徴収割合は、77.3%となっており、前年度同期と比較して0.7ポイント低下している。

2 収税事務について

平成12年度(10月末現在)における200万円以上の県税高額滞納者は6人で、その総額は137,600,540円である。

収入の促進に引き続き努められたい。

3 課税事務について

不動産取得税が、4件、27,500円過大課税、1件、9,000円過少課税となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

姫路工業大学 (平.13. 2. 7)

1 授業料の徴収状況について

平成12年度(11月末現在)における大学授業料の収入未済額は、15件、3,392,100円である。
納期内納付の促進に努められたい。

2 経理事務について

- (1) 平成12年4月1日に行政財産を使用許可したことに伴う財産使用料(340,800円)の調定が、8月9日と遅れていた。
- (2) 行政財産の使用許可に伴う光熱水費等(庁舎清掃委託料等)が、4件、12,752円過少徴収となっていた。
- (3) 扶養手当等が、7件、17,522円過大支給、1件、6,400円過少支給となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

県民生活部関係

三田保健所 (平.13. 1.30)

経理事務について

時間外勤務手当が、4件、19,726円過少支給となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

豊岡保健所 (平.12.12.25)

経理事務について

時間外勤務手当が、3件、33,508円過少支給となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

浜坂保健所 (平.12.12.26)

経理事務について

時間外勤務手当が、1件、5,432円過大支給、3件、6,599円過少支給となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

篠山保健所 (平.13. 1.29)

経理事務について

扶養手当等が、5件、54,243円過少支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

柏原保健所 (平.13. 1.29)

収入の促進について

平成12年度(10月末現在)における保健所手数料等の収入未済額は、2件、667,020円で、うち滞納繰越分は、1件、10,000円である。

収入の促進に努められたい。

津名保健所 (平.13. 1.23)

物品の損傷について

平成12年8月31日に衝突事故により公用車1台を損傷していた。

物品の管理に留意されたい。

福崎保健所 (平.13. 2. 8)

洲本保健所 (平.13. 1.23)

三原保健所 (平.13. 1.22)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

中播磨福祉事務所 (平.13. 2. 8)

収入の促進について

平成12年度(11月末現在)における知的障害者福祉措置費弁償金等の収入未済額は、34件、1,141,039円で、うち滞納繰越分は、1件、30,800円である。

収入の促進に努められたい。

北但福祉事務所 (平.12.12.26)

経理事務について

時間外勤務手当が、1件、10,725円過少支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

氷上福祉事務所 (平.13. 1.29)

経理事務について

扶助費(特別障害者手当)が、1件、26,860円過大支出となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

淡路福祉事務所 (平.13. 1.23)

収入の促進について

平成12年度(10月末現在)における知的障害者福祉措置費弁償金等の収入未済額は、26件、619,300円である。

収入の促進に努められたい。

美方福祉事務所 (平.12.12.26)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

県立淡路文化会館 (平.13. 1.23)

経理事務について

報酬等が、4件、13,791円過少支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

県立但馬文教府 (平.12.12.25)

県立姫路生活科学センター (平.13. 2. 9)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

姫路こどもセンター (平.13. 2. 7)

収入の促進について

平成12年度(11月末現在)における児童福祉施設弁償金等の収入未済額は、685件、12,406,635円で、うち滞納繰越分は、549件、10,141,724円である。

収入の促進になお一層努められたい。

豊岡こどもセンター (平.12.12.25)

県立こどもの館 (平.13. 2. 8)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

産業労働部関係

県立但馬技術高等学校 (平.12.12.25)

県立姫路高等技術専門学院 (平.13. 2. 5)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

農林水産部関係

姫路農林水産事務所 (平.13. 2. 7)

工事関係事務について

水源森林総合整備事業の設計で、設計額が、1件、50,400円過少となっていた。
設計に当たり注意されたい。

豊岡農林事務所 (平.12.12.26)

物品の損傷について

平成12年6月7日から1か月の間に追突事故等により公用車3台を損傷していた。
物品の管理に留意されたい。

柏原農林事務所 (平.13. 1.29)

工事関係事務について

生活環境保全林整備事業の設計で、設計額が、1件、211,050円過少となっていた。
設計に当たり注意されたい。

洲本農林水産事務所 (平.13. 1.22)

占・使用許可事務について

漁港施設占用料が、1件、23,680円過少徴収となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

但馬水産事務所 (平.12.12.26)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

洲本家畜保健衛生所 (平.13. 1.25)

経理事務について

時間外勤務手当が、2件、5,768円過大支給となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

姫路家畜保健衛生所 (平.13. 2. 9)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

豊岡土地改良事務所 (平.12.12.26)

工事関係事務について

ほ場整備事業の設計で、設計額が、1件、126,000円過大となっていた。
設計に当たり注意されたい。

篠山土地改良事務所 (平.13. 1.30)

経理事務について

旅費が、2件、5,706円過少支給となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

洲本土地改良事務所 (平.13. 1.22)

1 工事関係事務について

土地改良総合整備事業の設計で、設計額が、2件、184,800円過大となっていた。
設計に当たり注意されたい。

2 工事用取得土地の登記事務について

平成12年10月末現在における工事用取得土地のうち、未登記筆数は、28筆(換地処分により登記される筆数を除く。)である。
登記事務の促進に引き続き努められたい。

3 経理事務について

時間外勤務手当が、2件、5,196円過大支給、1件、4,852円過少支給となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

姫路土地改良事務所 (平.13. 2. 8)

県立淡路農業技術センター (平.13. 1.22)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

県土整備部関係

姫路土木事務所 (平.13. 2. 8)

1 工事関係事務について

街路工事に伴う物件移転補償の設計で、設計額が、1件、568,740円過少となっていた。
設計に当たり注意されたい。

2 占・使用許可事務について

道路占用料が、1件、14,010円過少徴収となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

豊岡土木事務所 (平.12.12.25)

1 工事用取得土地の登記事務について

平成12年9月末現在における工事用取得土地のうち、未登記筆数は、32筆(登記留保承認筆数を除く。)である。

登記事務の促進に努められたい。

2 経理事務について

(1) 県立但馬空港管理事務所が支払うべき道路照明灯3基の電気料金(平成11年度71,402円、12年度34,777円)を当所が支払っていた。

(2) 旅費が、1件、6,068円過少支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

浜坂土木事務所 (平.12.12.26)

1 工事用取得土地の登記事務について

平成12年9月末現在における工事用取得土地のうち、未登記筆数は、11筆(登記留保承認筆数を除く。)である。

登記事務の促進に努められたい。

2 経理事務について

扶養手当等が、2件、11,550円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

柏原土木事務所 (平.13. 1.29)

1 工事関係事務について

道路舗装修繕工事の設計で、設計額が、1件、73,500円過大となっていた。

設計に当たり注意されたい。

2 占・使用許可事務について

道路占用料が、2件、42,000円過大徴収となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

洲本土木事務所 (平.13. 1.23)

1 工事用取得土地の登記事務について

平成12年10月末現在における工事用取得土地のうち、未登記筆数は、18筆(登記留保承認筆数を除く。)である。

登記事務の促進になお一層努められたい。

2 収入の促進について

平成12年度(10月末現在)における港湾施設使用料等の収入未済額は、10件、1,479,256円で、うち滞納繰越分は、2件、265,986円である。

収入の促進に引き続き努められたい。

3 経理事務について

扶養手当等が、23件、102,173円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

4 物品の損傷について

平成12年8月22日に自損事故により公用車1台を損傷していた。

物品の管理に留意されたい。

姫路港管理事務所 (平.13. 2. 8)

収入の促進について

平成12年度(11月末現在)における港湾施設使用料等の収入未済額は、20件、17,490,684円である。

収入の促進になお一層努められたい。

県立但馬空港管理事務所 (平.12.12.26)

経理事務について

時間外勤務手当が、1件、15,995円過大支給、1件、20,730円過少支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

県立淡路景観園芸学校 (平.13. 1.23)

授業料の徴収状況について

平成12年度(10月末現在)における淡路景観園芸学校授業料の収入未済額は、6件、1,117,200円である。

納期内納付の促進に努められたい。

教育委員会関係

丹有教育事務所 (平.13. 1.30)

収入の促進について

平成12年度(10月末現在)における大学奨学資金貸付金返還金及び高校奨学資金貸付金返還金の収入未済額は、380件、25,185,660円で、うち滞納繰越分は、338件、22,052,160円である。

収入の促進になお一層努められたい。

西播磨教育事務所 (平.13. 2. 7)

収入の促進について

平成12年度(11月末現在)における大学奨学資金貸付金返還金及び高校奨学資金貸付金返還金の収入未済額は、2,159件、150,564,940円で、うち滞納繰越分は、1,987件、136,395,280円である。

収入の促進になお一層努められたい。

但馬教育事務所 (平.12.12.26)

1 収入の促進について

平成12年度(9月末現在)における大学奨学資金貸付金返還金及び高校奨学資金貸付金返還金の収入未済額は、206件、11,803,660円で、うち滞納繰越分は、184件、10,633,000円である。

収入の促進になお一層努められたい。

2 経理事務について

期末手当等が、2件、176,301円過大支給となっていた。
事務処理に当たり注意されたい。

淡路教育事務所 (平.13. 1.23)

収入の促進について

平成12年度(10月末現在)における大学奨学資金貸付金返還金及び高校奨学資金貸付金返還金の収入未済額は、58件、3,641,000円で、うち滞納繰越分は、43件、2,748,000円である。

収入の促進になお一層努められたい。

県立歴史博物館 (平.13. 2. 7)

県立人と自然の博物館 (平.13. 1.30)

県立コウノトリの郷公園 (平.12.12.26)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

有馬高等学校 (平.13. 1.31)

授業料の徴収状況について

平成12年度(10月末現在)における定時制高校授業料の納期内納付率は、89.9%で低率であり、また、全日制高校授業料の収入未済額は、23件、220,500円である。

納期内納付の促進に努められたい。

三田西陵高等学校 (平.13. 1.31)

授業料の徴収状況について

平成12年度(10月末現在)における全日制高校授業料の収入未済額は、15件、135,000円である。

納期内納付の促進に努められたい。

白鷺工業高等学校 (平.13. 2. 9)

経理事務について

使用料及び賃借料(修学旅行見学地入場料)が、5件、14,600円過少支出となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

豊岡高等学校 (平.12.12.27)

授業料の徴収状況について

平成12年度(9月末現在)における定時制高校授業料の納期内納付率は、89.0%で低率である。

納期内納付の促進に努められたい。

淡路高等学校 (平.13. 1.25)

物品の損傷について

平成12年10月3日に衝突事故により公用車1台を損傷していた。

物品の管理に留意されたい。

上野ヶ原養護学校 (平.13. 1.31)

経理事務について

電気料金を早収期限日までに納めなかったため、加算額、1件、13,782円を徴収されていた。

事務処理に当たり注意されたい。

北摂三田高等学校 (平.13. 1.31)

柏原高等学校 (平.13. 1.31)

氷上西高等学校 (平.13. 1.31)

氷上高等学校 (平.13. 1.31)

篠山鳳鳴高等学校	(平.13. 1.31)
篠山産業高等学校	(平.13. 1.31)
姫路別所高等学校	(平.13. 2. 9)
姫路東高等学校	(平.13. 2. 9)
姫路北高等学校	(平.13. 2. 9)
姫路西高等学校	(平.13. 2. 9)
城北高等学校	(平.13. 2. 9)
姫路飾西高等学校	(平.13. 2. 9)
姫路南高等学校	(平.13. 2. 5)
網干高等学校	(平.13. 2. 5)
飾磨工業高等学校	(平.13. 2. 9)
姫路産業技術高等学校	(平.13. 2. 9)
姫路工業高等学校	(平.13. 2. 9)
姫路商業高等学校	(平.13. 2. 5)
福崎高等学校	(平.13. 2. 9)
香寺高等学校	(平.13. 2. 9)
神崎高等学校	(平.13. 2. 9)
家島高等学校	(平.13. 2. 9)
夢前高等学校	(平.13. 2. 9)
豊岡南高等学校	(平.12.12.27)
豊岡実業高等学校	(平.12.12.27)
香住高等学校	(平.12.12.27)
日高高等学校	(平.12.12.27)
出石高等学校	(平.12.12.27)
浜坂高等学校	(平.12.12.27)
温泉高等学校	(平.12.12.21)
村岡高等学校	(平.12.12.21)
洲本高等学校	(平.13. 1.25)
洲本実業高等学校	(平.13. 1.25)
津名高等学校	(平.13. 1.25)
三原高等学校	(平.13. 1.24)
志知高等学校	(平.13. 1.24)
淡路盲学校	(平.13. 1.25)
姫路聾学校	(平.13. 2. 9)
豊岡聾学校	(平.12.12.27)
淡路聾学校	(平.13. 1.25)
高等養護学校	(平.13. 1.31)
水上養護学校	(平.13. 1.31)

姫路養護学校 (平.13. 2. 9)
出石養護学校 (平.12.12.27)
淡路養護学校 (平.13. 1.25)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

公安委員会関係

三田警察署 (平.13. 1.31)
篠山警察署 (平.13. 1.31)
柏原警察署 (平.13. 1.31)
姫路警察署 (平.13. 2. 9)
飾磨警察署 (平.13. 2. 9)
網干警察署 (平.13. 2. 5)
福崎警察署 (平.13. 2. 9)
出石警察署 (平.12.12.27)
豊岡警察署 (平.12.12.27)
城崎警察署 (平.12.12.27)
香住警察署 (平.12.12.27)
浜坂警察署 (平.12.12.21)
洲本警察署 (平.13. 1.25)
岩屋警察署 (平.13. 1.25)
津名西警察署 (平.13. 1.25)
三原警察署 (平.13. 1.24)

事務処理は、おおむね適正と認められた。

第 3 財 政 的 援 助 団 体 等

- 1 財政的援助団体等の名称の右側（ ）書きは監査執行年月日である。
- 2 財政的援助団体等の財務諸表の用語、区分等表示については各団体の使用しているものに準拠して記載した。

1 監査の対象

明石海峡大橋の完成を契機として、コミュニケーション文明の先導的拠点施設の整備促進とコミュニケーションの理念と技術を高める調査、研究及び実践を行い、その理念を内外に広くアピールすることによって、明石海峡大橋関連地域の新しい発展に寄与することを目的とするこの協会に対し、基本財産100,000,000円のうち 50,000,000円を県が出えんし、平成11年度において夢の架け橋記念事業推進事業について 1,100,000,000円の補助金を交付しているため、この協会の出納その他の事務について監査を執行した。

2 監査の結果

(1) 平成11年度事業の概要

事業区分	実 績 等	
国際園芸・造園博 「ジャパンフロー ラ2000」の推進	会場建設	園路、広場の舗装工事等の基盤整備、駐車場、路線バス等のためのターミナル整備、場内建築施設整備等の実施
	広 報	新聞紙面、テレビCMスポットによるPR活動、情報紙等への掲載、主要駅でのポスター掲示等の実施
	観客誘致	団体、企業、旅行業者等に対する観客誘致活動、キャンペーンの展開、販売窓口の整備により、前売券約324万枚を販売
	展 示	花の館等の展示館、庭園の展示工事の実施及び開幕後の運営、維持管理、国際コンテスト等の実施
	催 事	ジャパンフローラの開催意義をアピールし、あわせて来場者誘致につながるイベントの実施
	営 業	来場者に対する円滑なサービスの提供を図るため、飲食・物販、アミューズメント等各事業者の決定等を実施
	交通輸送対策	パーク・アンド・バスライド等の交通輸送対策及び駐車場対策の実施
	会場運営	医療救急、衛生、会場警備等の体制整備及び交通アクセス、イベント情報の提供

(2) 平成11年度決算
収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
祭 典 事 業 費	7,783,948,684円	基本財産運用収入	229,943円
受 託 事 業 費	2,533,760,850	入 場 料 収 入	7,190,102,300
負 担 金 事 業 費	598,434,000	施 設 参 加 収 入	2,043,646,000
管 理 費	530,093,528	海 外 出 展 協 力 金 収 入	75,750,000
そ の 他 事 業 費	469,699,276	場 内 営 業 収 入	295,529,541
特 定 預 金 支 出	3,920	駐 車 場 収 入	72,637,500
		附 帯 事 業 収 入	116,933,305
		補 助 金 等 収 入	2,533,760,850
		負 担 金 収 入	598,434,000
		宝くじ販売管理事業収入	488,976,000
		雑 収 入	3,943,078
		借 入 金 収 入	550,000,000
当 期 支 出 合 計	11,915,940,258	当 期 収 入 合 計	13,969,942,517
当 期 収 支 差 額	2,054,002,259	前 期 繰 越 収 支 差 額	91,260,902
次 期 繰 越 収 支 差 額	2,145,263,161	収 入 合 計	14,061,203,419

(注)施設参加収入に1,100,000,000円の県補助金を含む。

正味財産増減計算書

減 少 の 部		増 加 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 減 少 額	1,041,633,211円	資 産 増 加 額	3,996,926,259円
合 計	1,041,633,211	合 計	3,996,926,259
当 期 正 味 財 産 増 加 額	2,955,293,048		
前 期 繰 越 正 味 財 産 額	710,422,314		
期 末 正 味 財 産 合 計 額	3,665,715,362		

貸借対照表

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	9,296,944,590円	流 動 負 債	8,151,681,429円
固 定 資 産	2,520,452,201	正 味 財 産	3,665,715,362
		(うち基本金)	(100,000,000)
		(うち当期正味財産増加額)	(2,955,293,048)
合 計	11,817,396,791	合 計	11,817,396,791

(注) 1 収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計及び特別会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 44,258,691円

(3) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

1 監査の対象

兵庫県における創造的な科学技術の振興を総合的に推進するとともに、西播磨テクノポリス開発計画で定められた地域を中心に高度技術に立脚した工業開発を促進し、もって魅力ある地域社会の建設及び国際社会の発展に寄与することを目的とするこの協会に対し、基本財産4,200,000,000円のうち4,000,000,000円を県が出えんし、平成11年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この協会の出納その他の事務について監査を執行した。

区 分	内 容	
補 助 金	地域産業技術交流・移転事業	1,480,000円
公の施設の管理委託	県立先端科学技術支援センター管理委託料	282,204,000円

2 監査の結果

(1) 平成11年度事業の概要

ア シンクタンク事業

事業区分	実 績	等
総合企画事業	総合企画委員会等の開催	3回

イ 科学技術の振興を総合的に推進する事業

事業区分	実 績	等
共同研究開発推進事業	地震・防災分野の研究活動に対する助成	助成金 1件 1,500,000円
学術研究支援事業	一般学術研究助成	助成金 5件 24,110,000円
	奨励研究助成	助成金 10件 19,790,000円
	研究結果の報告	報告書配布
学術交流事業	海外研究者招へい助成・研究者海外派遣助成	助成金 10件 4,014,174円
	研究集会助成	助成金 5件 2,480,000円
普及啓発事業	ひょうご科学技術トピックスセミナーの開催	2回 参加者数 延べ 187人
	機関誌「ひょうごサイエンス」の発行	2回 各 2,500部
	共催事業等の開催	'99青少年のための科学の祭典ひょうご大会ほか 3事業
	インターネット・ホームページの充実	

ウ 高度技術に立脚した工業開発を促進する事業

事業区分		実	績	等
技術 振 興 事 業	新技術・新製品開発支援事業	新技術、新製品開発に対する助成		3件 4,000,000円
	研修・指導事業	技術研修会		2回
		技術アドバイザーによる技術指導		参加者数 延べ 18人
	情報提供事業	ファクシミリによる「播磨産業情報」の提供		相談件数 29件
	技術交流事業	第4回SR産業利用関連技術国際会議の開催		月2回
		国際先端技術メッセ'99の開催		参加者数 236人
債務保証・低利融資事業		債務保証及び低利融資の実施		参加者数 延べ24,199人
債務保証・低利融資事業		債務保証及び低利融資額		1件 20,000,000円
企業化・活性化支援事業	新事業創出 研修事業	企業等対象研修会の実施		5テーマ
				参加者数 延べ 290人
	交流促進事業	西播磨ビジネスチャンス会の開催		参加者数 124人
		主要企業見学会の開催		4回
		経営・技術支援助成事業		参加者数 延べ 107人
		助成金 1件	2,000,000円	

エ 公の施設の管理受託事業

事業区分	実	績	等
県立先端科学技術支援センターの管理運営	視察・見学者数		48,387人
	宿泊者数		6,047人
	会議室等利用者数		29,824人
	展示室での催し		9回

(2) 平成11年度決算
収支計算書

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
総合企画事業費	2,018,796円	基本財産運用収入	86,496,160円
調査研究事業費	12,410,563	基金運用収入	24,205,144
共同研究開発推進事業費	1,713,201	事業収入	948,955
学術研究支援事業費	46,283,497	補助金等収入	421,691,972
学術交流事業費	13,383,633	雑収入	3,472,792
普及啓発事業費	31,404,951	特定預金取崩収入	22,310,000
債務保証・低利融資事業費	24,830,797	その他収入	9,541,672
新技術・新製品開発支援事業費	4,485,653		
研修・指導事業費	1,862,138		
起業化・活性化支援事業費	6,176,139		
技術情報提供事業費	772,253		
技術交流事業費	3,037,043		
兵庫県立先端科学技術支援センター 管理運営事業費	283,434,470		
放射光研究支援事業費	102,018,143		
管 理 費	22,087,874		
特定預金支出	11,448,288		
当期支出合計	567,367,439	当期収入合計	568,666,695
当期収支差額	1,299,256	前期繰越収支差額	84,268,722
次期繰越収支差額	85,567,978	収入合計	652,935,417

(注) 補助金等収入に1,480,000円の県補助金及び282,204,000円の県の公の施設の管理委託料を含む。

正味財産増減計算書

減 少 の 部		増 加 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産減少額	27,196,080円	資産増加額	40,579,037円
負債増加額	11,310,000	負債減少額	22,310,000
合 計	38,506,080	合 計	62,889,037
当期正味財産増加額	24,382,957		
前期繰越正味財産額	5,385,917,739		
期末正味財産合計額	5,410,300,696		

貸借対照表

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	167,495,105円	流 動 負 債	81,927,127円
固 定 資 産	5,358,232,718	固 定 負 債	33,500,000
		正 味 財 産	5,410,300,696
		(うち基本金)	(4,200,000,000)
		(うち当期正味財産増加額)	(24,382,957)
合 計	5,525,727,823	合 計	5,525,727,823

(注) 1 収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計、債務保証事業特別会計、技術振興事業特別会計、地域産業活性化事業特別会計及び兵庫県立先端科学技術支援センター - 管理運営事業特別会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 476,808円

(3) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

1 監査の対象

丹波地域のすべての人々の創意と行動力を結集し、地域のすぐれた自然環境を守り育てるとともに、緑を基軸とした地域づくり事業を行い、「人と自然と文化」の調和した、うるおいと、安らぎと、活力に満ちた丹波の森づくりを推進することを目的とするこの協会に対し、県が平成11年度において公の施設である丹波の森公苑の管理委託料として174,112,050円を支出しているの、これに係る出納その他の事務について監査を執行した。

2 監査の結果

(1) 平成11年度公の施設の管理受託事業の概要

事	業	区	分	実	績	等
丹波の森公苑管理運営事業	施設整備	工事				6件
	使用料の徴収	利用者数				234,794人
		使用料				11,425,510円
	丹波の森公苑運営委員会の運営	運営委員会				開催回数 2回
		専門部会				開催回数 3回
	丹波の森研究会議の運営	メインター				「地域づくり活動に関する調査研究」
	情報誌「丹波の森」の発行	発行部数				2回 84,000部
	講座「丹波学」の開設	開催回数				5回
		受講者数				43人
	丹波の森フェスティバルの開催	参加者数				40,000人
	森づくりボランティア活動事業	参加者数				延べ307人
	花づくり研究員活動事業	参加者数				延べ438人
	丹波の森里山創造事業	参加者数				34人
舞台芸術鑑賞機会の提供	公演回数				5回	
	入場者数				3,020人	
ステージオペレーター活動事業	活動実績				6公演 延べ79人	

丹波の森国際音楽祭“シューベルティアードたんば”の開催	街角コンサート	1市6町12会場
	入場者数	延べ2,430人
	ホールコンサート	3会場
	入場者数	延べ710人
	サロンコンサート	
	入場者数	150人
	キン・コン・カンコンサート	
入場者数	300人	
ファイナルコンサート		
入場者数	110人	
協賛コンサート	2会場	
入場者数	延べ250人	
丹波の森演劇塾の実施及び発表公演	演劇塾塾生	25人
	発表公演入場者数	583人
丹波の森「美術学校」の開催	開催回数	7回
	受講者数	114人
丹波の森アートフェスティバルの開催	開催回数	5回
	展示数	1,373点
消費者活動支援事業	くらしの通信講座	
	受講生	135人
	消費者セミナー	2回
	受講生	125人

(2) 平成11年度公の施設の管理受託事業の決算

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費	45,249,678円	管理運営受託事業収入	174,112,050円
施設維持費	46,030,304		
管理運営費	63,043,301		
事業運営費	11,497,717		
公課費	8,291,050		
合計	174,112,050	合計	174,112,050

(3) 意見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

1 監査の対象

広く県民の理解と参画を得て高齢者自らが積極的に生きがいを創造する活動を支援し、もって高齢者の福祉の増進に寄与することを目的とするこの協会に対し、基本財産73,020,000円のうち19,000,000円を県が出えんし、平成11年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この協会の出納その他の事務について監査を執行した。

区 分	内 容	
補 助 金	明るい長寿社会づくり推進機構運営補助事業	86,693,384円
公の施設の管理委託	兵庫県老人休養ホーム六甲保養荘管理委託料	114,863,657円

2 監査の結果

(1) 平成11年度事業の概要

ア 自主事業

事 業	区 分	実 績 等
高齢者の生きがい創造を増進するための知識の普及啓発	広報紙「生きがいの創造」の発行	80,000部
	高齢者の健康づくり及びスポーツ活動の普及啓発	スポーツ用具の貸出、スポーツ指導員の派遣等
	社会参加シンポジウムの開催	参加者 450人
	ひょうごシルバー情報システムの運営	利用件数 360件
高齢者の生きがい創造に関する調査研究	高齢者の生きがいと健康づくり運営協議会の開催	全体会議 2回 専門部会 3回
	兵庫県高齢者教育研究協議会の運営	ブロック代表者会議等 4回
高齢者の健康づくり及び創作活動のための施設の設置及び管理運営	高齢者園芸センターの運営	利用者 163人
	家庭菜園等講座の開催	受講者 79人
	高齢者陶芸の村の運営	会員 254人
	高齢者手づくりの店の運営	6店
高齢者の地域社会への奉仕活動に対する支援	高齢者生きがい創造センターの運営	会員 752人
	高齢者の能力活用事業	登録者 314人
高齢者の研修を目的とした旅行の主催及びあっせん	ねんりんボランティア育成講座	受講者 112人
	研修旅行	20件 1,058人
高齢者の福祉を推進するための事業	ひょうご県民交流の船の共同実施	参加者 482人
	高齢者の健康づくり及び創作講座の開催	受講者 2,787人
高齢者の生きがい創造活動の推進等活力ある長寿社会づくりのための事業に対する助成(ねんりんピック記念基金による助成事業)		14団体 1,191,000円
その他、高齢者の福祉の増進を図るために必要な事業	兵庫県いなみ野学園図書館の運営	利用者 7,888人
	絵手紙等特別講座の開催	受講者 65人
	協会支部事業の運営	4支部で講演会等の実施

イ 公の施設の管理受託事業

事業区分	実績等	
老人休養ホーム六甲保養荘の管理運営	宿泊者数	16,543人
	休憩者数	8,679人
	宿泊利用率	63.6%

(2) 平成11年度決算

収支計算書

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
普及啓発事業費	34,290,351円	基本財産運用収入	369,504円
支部運営事業費	34,397,369	基金運用収入	1,485,632
調査研究事業費	992,000	固定資産運用収入	81,033
施設管理運営事業費	24,572,841	事業収入	44,379,351
奉仕活動支援事業費	7,519,132	補助金等収入	433,313,283
旅行運営事業費	2,029,590	負担金収入	61,676,000
総合相談センター運営受託事業費	30,716,402	雑収入	15,126,114
いなみ野学園等運営受託事業費	131,747,226	交付金収入	200,000
いなみ野学園運営事業費	57,233,759		
阪神老人大学運営事業費	54,164,364		
協会運営費	25,304,532		
長寿社会づくり助成事業費	1,843,167		
図書館運営事業費	97,395		
健康づくり事業費	2,860,000		
六甲保養荘受託事業費	114,863,657		
管理費	36,350,519		
特定預金支出	123,000		
当期支出合計	559,105,304	当期収入合計	556,630,917
当期収支差額	2,474,387	前期繰越収支差額	24,468,831
次期繰越収支差額	21,994,444	収入合計	581,099,748

(注)補助金等収入に86,693,384円の県補助金及び114,863,657円の県の公の施設の管理委託料を含む。

正味財産増減計算書

減 少 の 部		増 加 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 減 少 額	9,760,413円	資 産 増 加 額	3,858,308円
負 債 増 加 額	246,000		
合 計	10,006,413	合 計	3,858,308
当期正味財産増加額	6,148,105		
前期繰越正味財産額	371,838,278		
期末正味財産合計額	365,690,173		

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	114,012,509円	流 動 負 債	92,018,065円
固 定 資 産	343,941,729	固 定 負 債	246,000
		正 味 財 産	365,690,173
		(うち基本金)	(73,020,000)
		(うち当期正味財産増加額)	(6,148,105)
合 計	457,954,238	合 計	457,954,238

(注) 1 収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計、ねんりんピック記念基金特別会計、図書館運営資金特別会計及び六甲保養荘特別会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 79,353,387円

(3) 意 見

経理事務について

賃金等が、1件、30,131円過大支給、1件、6,240円過少支給となっていた。

事務処理に当たり配意されたい。

1 監査の対象

兵庫県内において、森林整備事業を推進して、資源の活用、公益的機能の維持・増進及び農山村経済の振興に資するとともに、緑化事業及び人と森林とのふれあい事業を推進して、都市等における生活環境の改善及び県民の福祉の向上に寄与することを目的とするこの公社に対し、基本財産9,630,000円のうち5,000,000円を県が出資し、平成11年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この公社の出納その他の事務について監査を執行した。

区 分	内 容		
補助金	造林事業等	1,228,222,781円	
貸付金	長期	造林事業資金(決算時残高)	2,695,000,000円
	単年度	造林事業資金等	4,674,600,000円
損失補償	造林資金借入金(決算時残高)	42,877,125,164円	
公の施設の管理委託	兵庫県立三木山森林公園管理委託料	199,691,000円	

2 監査の結果

(1) 平成11年度(平成11年7月1日から12年6月30日まで)事業の概要

ア 自主事業

事業区分	実 績	等
造林事業	新植	25.16 ha
	保育	4,972.77 ha
	事業費	1,190,786,041 円
県営分収育林事業	保育	451.14 ha
	分収育林契約	378.36 ha
	事業費	586,596,128 円
里山林整備事業	造成	294.00 ha
	保育	227.70 ha
	基本計画策定	120.00 ha
	事業費	324,370,200 円
緑化事業		153 件
	事業費	3,351,615,795 円
県土の緑化推進事業	県民運動による緑化推進事業ほか13事業費	324,565,763 円

イ 公の施設の管理受託事業

事業区分	実 績	等
三木山森林公園の管理運営	入園者数	459,540 人

(2) 平成11年度決算

収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
造 林 事 業 費	2,249,873,209円	基本財産運用収入	57,897円
諸 事 業 費	440,421,195	諸 事 業 収 入	34,527,218
県営分収育林事業費	261,384,913	受 託 事 業 収 入	4,032,730,107
緑 化 事 業 費	3,543,850,873	樹 苗 事 業 収 入	4,902,140
研 究 所 事 業 費	42,879,382	補 助 金 収 入	888,604,637
樹 苗 事 業 費	4,425,398	緑 化 基 金 収 入	358,321,396
受 託 事 業 費	724,763,165	雑 収 入	31,528,936
管 理 費	702,757,937	基 本 財 産 収 入	0
固定資産取得支出	9,257,600	固定資産売却収入	3,310,300
敷金・保証金支出	3,250,000	敷金・保証金収入	2,522,000
借入金返済支出	4,933,639,591	借 入 金 収 入	7,163,600,000
特定預金支出	433,587,701	特定預金取崩収入	895,394,344
繰入金支出	57,330,032	分 収 育 林 収 入	89,340
その他支出	4,250,400	繰 入 金 収 入	57,330,032
当期支出合計	13,411,671,396	当期収入合計	13,472,918,347
当期収支差額	61,246,951	前期繰越収支差額	779,053,273
次期繰越収支差額	840,300,224	収 入 合 計	14,251,971,620

(注) 1 受託事業収入に190,181,905円(消費税9,509,095円を除く。)の県の公の施設の管理委託料を含む。

2 補助金収入及び緑化基金収入に1,190,733,282円(消費税37,489,499円を除く。)の県補助金を含む。

正味財産増減計算書

減 少 の 部		増 加 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 減 少 額	3,637,550,676円	資 産 増 加 額	5,662,001,696円
負 債 増 加 額	7,577,311,478	負 債 減 少 額	5,618,432,141
減 少 額 合 計	11,214,862,154	増 加 額 合 計	11,280,433,837
当期正味財産増加額	65,571,683		
前期繰越正味財産額	781,607,914		
期末正味財産合計額	847,179,597		

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	6,332,086,509円	流 動 負 債	5,471,818,440円
固 定 資 産	53,718,170,308	固 定 負 債	53,736,729,788
繰 延 資 産	5,471,008	正 味 財 産	847,179,597
		(うち基本金)	9,630,000
		(うち当期正味財産増加額)	65,571,683
合 計	60,055,727,825	合 計	60,055,727,825

(注) 1 収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表とも造林会計、県営分収育林事業会計及び緑化・森林ふれあい事業会計を合算したものである。

2 固定資産及び繰延資産から控除した減価償却累計額 184,648,998円を含む。

(3) 意 見

工事関係事務について

造林木伐採に伴う立木補償の設計において、設計額が、1件、162,000円過少となっていた。

設計に当たり配意されたい。

1 監査の対象

但馬空港ターミナルビル及びこれに付帯する施設の管理及び賃貸業、航空機及び給油施設賃貸業等を営むことを目的として設立されたこの会社に対し、資本金308,000,000円のうち100,000,000円を県が出資し、平成11年度において次のとおり財政的援助等を行っているため、この会社の出納その他の事務について監査を執行した。

区 分	内 容
貸付金	単年度 但馬空港ターミナル株式会社資金 387,000,000円
公の施設の管理委託	但馬飛行場の施設の管理委託

(注)地方自治法第244条の2第4項の規定に基づき、公の施設の管理受託者である当株式会社に施設の利用に係る料金を収受させ、管理経費に充当させている。

2 監査の結果

(1) 第7期(平成11年4月1日から12年3月31日まで)営業の概要

ア 自主事業

事業区分	実 績	等
航空機燃料給油業務	給油数量	156,674ℓ
	販売収入	8,331,957円
	受取手数料	2,822,880円
損害保険代理店業務	取扱件数	82件
	受取手数料	178,537円
印紙、証紙等販売業務	受取手数料	1,217,715円
土産物等販売業務	商品売上金額	1,358,608円
	受取手数料	128,665円
航空機リース業務	機 種	サブ 340B型機
	リース先	日本エアコミューター株式会社
	リース料収入	64,554,096円
その他の業務	共益費収入	10,165,283円

イ 公の施設の管理受託事業

事業区分	実 績	等
但馬飛行場の管理運営	ターミナル等の利用許可件数	340件
	施設利用料金収入	20,031,917円

(2) 第7期決算
損益計算書

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
営業費用	179,189,095円	営業収益	175,587,644円
法人税・住民税	287,154	営業外収益	2,407,729
		当期損失	1,480,876
合計	179,476,249	合計	179,476,249

(注) 営業収益に20,031,917円の県の公の施設の利用料金を含む。

貸借対照表

資産の部		負債及び資本の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	381,145,894円	流動負債	403,597,251円
固定資産	325,127,743	固定負債	580,000
		資本金	308,000,000
		欠損金	5,903,614
		(うち当期損失)	(1,480,876)
合計	706,273,637	合計	706,273,637

(注) 固定資産から控除した減価償却累計額 312,269,375円

(3) 意見

経営成績について

決算の結果、1,480,876円の当期損失を生じており、当期末における欠損金は5,903,614円となっている。

経営成績の向上に配意されたい。

1 監査の対象

兵庫県の管理する都市公園及び兵庫県フラワーセンターの健全な利用を図るとともに、花と緑を育てる技術及び公園緑地に対する愛護精神の普及啓発を促進することにより、花と公園緑地事業の振興及び明るく潤いのある社会の創造に寄与することを目的とするこの協会に対し、県が平成11年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、これに係る出納その他の事務について監査を執行した。

区 分	内 容	容	
補 助 金	兵庫県園芸・公園協会運営事業	136,301,260円	
貸付金	長期	兵庫県園芸・公園協会運営資金(決算時残高)	126,250,000円
	単年度	兵庫県園芸・公園協会遊戯施設建設資金	50,000,000円
損 失 補 償	赤穂海浜公園施設建設資金借入金(決算時残高)	58,261,000円	
公 の 施 設 の 管 理 委 託	県立明石公園等管理委託料	2,123,641,100円	
	県立淡路夢舞台公苑の管理委託	—————	

(注) 地方自治法第244条の2第4項の規定に基づき、公の施設の管理受託者である当協会に県立淡路夢舞台公苑の施設の利用に係る料金を収受させ、管理経費に充当させている。

2 監査の結果

(1) 平成11年度事業の概要

公の施設の管理受託事業

事 業	区 分	実 績 等			
県立都市公園等	施設の維持管理業務		13公園		
	修繕工事		376件		
	使 用 料	野球場	明石公園ほか 1 公園	利用件数 625件	
		運 動 施 設	陸上競技場	明石公園	利用件数 158件
			テニスコート	明石公園ほか 4 公園	利用件数 16,536件
			球技場	明石公園ほか 2 公園	利用件数 733件
			ローンボールスコート	明石公園	利用件数 317件
			合 計		利用件数 18,369件
	徴 収 公 務 園 等	野外ステージ	播磨中央公園	利用件数 5件	
		付属設備	播磨中央公園	利用件数 9件	
		ウォーターランド	西猪名公園	利用者数 90,485人	
		バラ園	播磨中央公園	利用者数 32,016人	
		会議室	明石公園ほか 1 公園	利用件数 248件	
	駐車場	明石公園ほか 3 公園	利用台数 220,021台		

	海上プロムナード	舞子公園	利用者数	342,966人
	施設占用使用		許可件数	65件
	「緑の相談所」運營業務	明石公園	相談件数	3,150件
			園芸教室受講者数	1,948人
フラワーセンター	施設の維持管理業務(花壇等植栽・温室等の展示及び管理等)		1 施設	
	修繕工事		工事件数	7件
	使用料徴収業務	入園	入園者数	313,532人
		展示室、研修室	利用件数	48件
駐車場		利用台数	75,523台	
淡路 ファームパーク	施設の維持管理業務(花壇等植栽・温室等の展示及び管理、小動物の飼育展示及び管理等)		1 施設	
	修繕工事		工事件数	3件
	使用料徴収業務	入園	入園者数	483,805人
		駐車場	利用台数	78,048台
県立淡路夢 舞台公苑	施設の管理運營業務	駐車場	利用台数	2,996台
			施設利用料金収入	2,996,000円

(注) 県立淡路夢舞台公苑は、平成12年3月9日に開設されたため、実績等は、3月31日までの23日間のものである。

(2) 平成11年度補助対象事業、貸付対象事業等及び公の施設の管理受託事業の決算

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
公園施設維持管理等受託事業費	2,112,953,100円	事業収入	2,171,653,100円
夢舞台展望テラス等維持管理事業費	2,996,000	補助金等収入	136,301,260
管理費	136,301,260	借入金収入	50,000,000
借入金返済支出	95,016,000		
特定預金支出	10,688,000		
合計	2,357,954,360	合計	2,357,954,360

(注) 事業収入に2,123,641,100円の県の公の施設の管理委託料及び2,996,000円の県の公の施設の利用料金を含む。また、補助金等収入136,301,260円は県補助金である。

(3) 意見

経理事務について

ア 退職手当等が、3件、124,559円過大支給、8件、777,093円過少支給となっていた。

イ 電気料金を早収期限日までに納めなかったため、加算額、26件、264,411円を徴収されていた。

事務処理に当たり配慮されたい。

1 監査の対象

「淡路ワールドパークONOKORO」等の整備及び管理・運営並びに各種収益事業を行うことを目的とするこの会社に対し、資本金3,005,000,000円のうち、1,600,000,000円を県が出資し、長期貸付金として事業資金1,500,000,000円(決算時残高)を貸付けしているため、この会社の出納その他の事務について監査を執行した。

2 監査の結果

(1) 第4期(平成11年4月1日から12年3月31日まで)営業の概要

事業区分	実績	等
淡路ワールドパークONOKORO	入園者数	549,125人
	売上額	1,591,877千円
淡路ワールドビレッジ	利用者数	34,515人
	売上額	78,144千円

(2) 第4期決算

損益計算書

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
営業費用	2,291,546,445円	営業収益	1,670,021,449円
営業外費用	96,635,105	営業外収益	2,994,423
特別損失	6,576,948	当期損失	722,692,626
法人税・住民税	950,000		
合計	2,395,708,498	合計	2,395,708,498

貸借対照表

資産の部		負債及び資本の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,004,679,912円	流動負債	235,176,309円
固定資産	3,917,119,263	固定負債	2,971,360,140
繰延資産	102,441,870	資本金	3,005,000,000
		欠損金	1,187,295,404
		(うち当期損失)	(722,692,626)
合計	5,024,241,045	合計	5,024,241,045

(注)固定資産から控除した減価償却累計額 1,601,684,584円

(3) 意 見

経営成績について

決算の結果、722,692,626円の当期損失を生じており、当期末における欠損金は1,187,295,404円となっている。

経営成績の向上に配慮されたい。